

# FAO Newsletter

2008年6月  
Vol. 27



今月の統計

穀物のうち  
食料に回る比率

2007/08年予測 **48%**

(バイオ燃料用 5%弱)

発行：(社)国際農林業協働協会(JAICAF) www.jaicaf.or.jp 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階 TEL：03-5772-7880 Email：fao@jaicaf.or.jp

Contents

目次

■食料価格高騰を農業活性化につなげる働きかけを  
■アフリカの低所得食料不足国の食料輸入額、  
74%増加  
■ジンバブエ、干ばつにより不作の見込み

■貧困層に対する食料価格高騰緩和の緊急対策  
が必要  
■日本の水産エコラベル制度発足  
■大規模バイオ燃料生産が助長する女性の社会問題

■FAOの食料安全保障サミットに大きな前進  
■アフリカ農業開発シンポジウムを開催  
■平成19年度「テレフード募金」報告

食料事情

Food Situation



## 食料価格高騰を農業活性化につなげる働きかけを

ディウフFAO事務局長、声明を発表



©FAO/Alessandra Benedetti

▲ジャック・ディウフFAO事務局長

FAOのジャック・ディウフ事務局長は、現在の食料価格高騰に対して、「必要とされている場所での食料増産により、価格高騰が貧しい消費者に与える影響を防がなければならない。同時に、生産性の向上により農村貧困者の収入増および雇用創出を図る必要がある」と訴える声明を発表しました。声明は、小規模農家が土地、水資源を適切に確保し、種子や肥料といった農業に不可欠な資材を入手できるように保障していく必要性を強調しています。また、農業への公的投資が近年減少傾向にあることを指摘し、その重要性を改めて呼びかけました。6月3-5日にローマで開かれる予定の「世界食料安全保障に関するハイレベル会合」には、フランスのサルコジ大統領、ブラジルのルラ大統領、潘国連事務総長らも参加して、食料価格高騰問題に対する取り組みについて討議することになっています。(4/29、ローマ)

関連ウェブサイト

Opinion Articles by FAO Director-General : [www.fao.org/english/dg/oped](http://www.fao.org/english/dg/oped)  
プレスリリース：ディウフ事務局長：今、世界は農業を活性化させるチャンス：  
[www.fao.or.jp/media/press\\_080430.pdf](http://www.fao.or.jp/media/press_080430.pdf)

## アフリカの低所得食料不足国の食料輸入額、74%増加

FAOは、2007/08年度の低所得食料不足国(LIFDCs)の食料輸入額が、37%増加した前年度に引き続き56%増加したことを明らかにしました。なかでもアフリカのLIFDCsでは74%も増加し、エジプト、ハイチ等では食料暴動が起きています。こうした事態に対して、FAOは食料価格高騰イニシアティブ(ISFP)を立ち上げ、改良種子や肥料、水資源などの活用支援を行い、農民による食料増産を促す取り組みを開始しました。現在、ブルキナファソをはじめとする4カ国で取り組みが始まっています。また、世界食糧計画(WFP)、国際農業開発基金(IFAD)等と協力し、各国政府が農産物の国際・地域・国内市場に関する情報を活用することのできる仕組みづくりにも取り組んでいます。今年度は世界的に豊作が見込まれており、食料価格上昇にも歯止めがかかるのではないかと期待されていますが、現在の食料価格高騰で苦しんでいる国々への緊急支援には12億-17億USドルが必要と見積もられています。(4/11、ローマ)



©FAO/22433/O. Tuillier

▲FAOは2008年度の豊作を予測

関連ウェブサイト

FAO's Global Information and Early Warning System : [www.fao.org/gIEWS](http://www.fao.org/gIEWS)  
World Food Situation portal : [www.fao.org/worldfoodsituation](http://www.fao.org/worldfoodsituation)  
High-Level Conference on World Food Security and the Challenges of Climate Change and Bioenergy : [www.fao.org/foodclimate](http://www.fao.org/foodclimate)

プレスリリース：最貧国の穀物輸入代金の急増続く、各国政府は影響抑制に努める：www.fao.or.jp/media/press\_080411.pdf

## ジンバブエ、干ばつにより不作の見込み

ジンバブエの一部では、干ばつにより今年のトウモロコシ収穫が大幅に減少する見込みです。干ばつは今年2月から続き、5-6月の収穫に影響を及ぼすと危惧されています。さらに、記録的なインフレのために、種子、肥料、燃料、労働力など農業に必要な資材全ての入手が困難となっています。

FAOが103万トン必要と見積もった食料輸入のうち、これまで、豊作だったマラウイ、ザンビアなどから59万トン弱が商業ベースで、また25万トンが食料援助で供給されています。しかし、昨年12月には10万%を超えたインフレにより、国民の3分の1を占める食料不安の人々の状況は悪化する一方です。外貨備蓄の減少や購買力の低下を伴う食料生産の減少により、人口の大部分が影響を受けると見られ、FAOは今後も食料援助が必要であるとしています。(4/10、ローマ)

### 関連ウェブページ

Zimbabwe agricultural season update : www.fao.org/giews/english/shortnews/zimbabwe080410.htm

## 貧困層に対する食料価格高騰緩和の緊急対策が必要

FAO、国連工業開発機関（UNIDO）、IFADは、インド政府の協力によりニューデリーで初の世界アグロ・インダストリー・フォーラムを開催しました。フォーラムにおいて、ディウフ



©FAO/Giulio Napolitano

▲アグロ・インダストリーは農産物の需要を高め雇用改善に大きな可能性を持つ

FAO事務局長は、食料価格高騰が貧困層に与える影響を緩和するための緊急の取り組みが必要と訴えました。ユムケラー UNIDO事務局長は、気候変動による干ばつ、水不足あるいは土壌や水の汚染により、利用可能な農地が不足したり、畜産や漁業が困難になるなど新しい問題が起きていることに注意を促しました。またボーグIFAD総裁は、近年、一部の途上国が純食料輸入国に転じたこと、バングラデシュからザンビアまで40%にのぼる人々が栄養不足状態にあることを報告しました。農産物の貯蔵、加工、付加価値の付与などに関してアグロ・インダストリーが重要な役割を果たすことが強調される一方、関税、非関税障壁、規格や品質保証、取扱規模などの問題により小規模農民に食料価格上昇の恩恵が及んでいないことに対して警告が発せられました。(4/9、ローマ)

### 関連ウェブページ

Global Agro-Industries Forum : www.gaif08.org  
プレスリリース：貧困層への価格高騰の影響を軽減するため緊急措置が必要：www.fao.or.jp/media/press\_080410.pdf

## 漁業

## Fishery



## 日本の水産エコラベル制度発足 環境に優しい漁業を応援します

マリン・エコラベル・ジャパン（MELジャパン）は、水産資源と海にやさしい漁業を応援する制度として2007年12月に発足し、2008年5月より環境に優しい漁業の認証審査を開始します。この制度は、資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいる漁業を認証し、その製品に水産エコラベルをつけることで、持続的な漁業を奨励・



▲認証された水産物に貼られるラベル

促進するものです。制度の基本的枠組みは、FAOの水産エコラベルガイドラインに基づいて作られています。また公正に運営すべく、科学者はもとより、漁業関係者、漁業管理の担当者（漁業者、研究者、行政）、流通関係者、消費者、環境NGO、食の専門家等、様々な立場の方々にご参加いただいております。MELジャパンは、食料安全保障における水産資源の役割がますます期待される昨今において、資源を末永く利用するために、水産エコラベル制度の普及に努めてまいります。

(大日本水産会国際課長 西村 雅志)

### 関連ウェブページ

マリン・エコラベル・ジャパン事務局（大日本水産会）：www.suisankai.or.jp  
日本水産資源保護協会：www.fish-jfrca.jp  
自然資源保全協会：www.006.upp.so-net.ne.jp/GGT





## 大規模バイオ燃料生産が助長する女性の社会問題

### ジェンダーに着目した新たなバイオ燃料研究

途上国で急激に進んでいる大規模なバイオ燃料の生産拡大が、農村部における女性の社会的地位を悪化させ、その生活を脅かしていることが、FAOの報告書により明らかになりました。現在、女性が耕作の主力となり、貧困層にとって生存の鍵となっ



©FAO/Giuseppe Bizzari

▲バイオ燃料のエタノール生産に利用されるサトウキビ

ている、いわゆる限界耕作地がバイオ燃料生産のためにプランテーション化されることにより、女性の農作業の場が生産性のきわめて低い土地へ追いやられる可能性があります。また、エネルギー用穀物の単一栽培プランテーションに置き換えることにより農作物の多様性が失われ、女性が主導となって実践してきた在来作物の管理や選別、保存などに関する知識や技術が失われる恐れも指摘されています。プランテーションは農村部に新たな雇用機会をつくり、女性の就労率も高まっていますが、労働環境や福利厚生等の面で男性に比べて著しく不利な状況にあるのが現状です。

報告書は、小規模農家の伝統的な知識や技術、地域の農作物体系を尊重した持続的なバイオ燃料の開発戦略を呼びかけています。(4/18、ブラジル/ローマ)

#### 関連ウェブページ

**Gender and Equity Issues in Liquid Biofuels Production - Minimizing the Risks to Maximize the Opportunities** : [www.fao.org/docrep/010/ai503e/ai503e00.htm](http://www.fao.org/docrep/010/ai503e/ai503e00.htm)

**Gender : the missing component of the response to climate change** : [www.fao.org/docrep/010/ai021e/ai021e00.htm](http://www.fao.org/docrep/010/ai021e/ai021e00.htm)

**People-centred climate change adaptation : integrating gender issues** : [ftp.fao.org/docrep/fao/010/a1395e/a1395e00.pdf](http://ftp.fao.org/docrep/fao/010/a1395e/a1395e00.pdf)

**Energy and Gender in Rural Sustainable Development** : [www.fao.org/docrep/010/ai020e/ai020e00.htm](http://www.fao.org/docrep/010/ai020e/ai020e00.htm)



## FAOの食料安全保障サミットに大きな前進

### ブラジルのルラ大統領、参加を表明

第30回FAOラテンアメリカ・カリブ海諸国地域会議の開会式で、ブラジルのルイス・イナシオ・ルラ・ダ・シルバ大統領は、2008年6月3-5日にローマのFAO本部で開催予定の食料安全保障サミットに参加することを明らかにしました。食物価格の高騰が世界各地で社会不安を引き起こし、またいくつかの国では暴動を誘発しているなか、ブラジル大統領のFAOイニシアティブ

への参加表明は非常に重要です。ルラ大統領は、食料安全保障はあらゆる国策に考慮されるべき恒久的な課題であり、事態の議論は緊急を要するとして、ローマ訪問の重要性を強調しました。サミットは、価格高騰にとどまらず、農業生産性の向上など、特に貧困国が直面している数々の問題に立ち向かうための戦略を話し合う貴重な機会として期待されています。(4/21、ローマ)

#### 関連ウェブページ

**Summit on food security** : [www.fao.org/foodclimate](http://www.fao.org/foodclimate)

**Regional Conference for Latin America and the Caribbean** : [www.fao.org/Unfao/Bodies/RegConferences/Larc30](http://www.fao.org/Unfao/Bodies/RegConferences/Larc30)



## アフリカ農業開発シンポジウムを開催

4月24日、農水省主催、FAO日本事務所等共催で、「アフリカ農業開発シンポジウム—アフリカ農林水産業の現状と日本の協力—」が開催されました。若林農林水産大臣からは、世界的に穀物価格が高騰し、輸出規制の動きが広がっていることに関し、国際的に深刻な問題であり、TICAD IV（第4回アフリカ

開発会議）やG8サミットの場合で十分な議論を行うとともに、アフリカ諸国に対して稲作を中心とした農業生産性の向上と生産拡大、研究開発に係る支援を強化していくことが重要であるとの見解が示されました。

FAOからは、日本事務所の横山所長が参加し、アフリカの食料・農業の現状、最近の食料価格の高騰の問題等について説明しました。このほか、南アフリカ共和国の農業大臣、アフリカ

各国の大使、外務省および農水省の幹部、多数の農業専門家から様々な報告があり、TICAD IVに向けて有意義な討議がなされました。

## 平成19年度「テレフード募金」報告：温かいご支援ありがとうございました

現在、世界では8億を超える人々が食料不足に苦しんでいます。FAOは、この現状について皆さまの理解を深め、食料不足に苦しむ人々の自立を支援する食料増産プロジェクトにご支援いただくため、世界中で「テレフード・キャンペーン」を行なっています。日本ではチャリティーコンサートなどのイベントを行なっているほか、JAICAFが窓口となり郵便局を通じて募金を受け付けています。その結果、昨年度のFAO本部への送金額の合計は下記のとおりとなりました。



▲テレフード・キャンペーンのポスター

**平成19年度の送金額 10,900,000円**

ご賛同いただきました多くの方々、ならびにキャンペーンにご協力いただきました各種団体の皆さまに心より感謝申し上げます。

今年度も引き続き皆さまのご支援をお待ちしております。専用の振替用紙もご用意しておりますので、ご希望の方はJAICAFまでお申し込みください。

### 関連ウェブページ

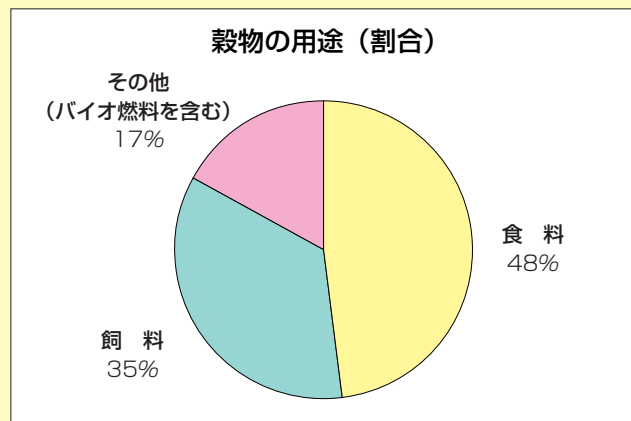
FAO : TeleFood : [www.fao.org/Food](http://www.fao.org/Food)  
 FAO日本事務所 : テレフード : [www.fao.or.jp/telefood01.html](http://www.fao.or.jp/telefood01.html)  
 JAICAF : FAO飢餓撲滅草の根募金 (テレフード募金) : [www.jaicaf.or.jp/fao/funds.htm](http://www.jaicaf.or.jp/fao/funds.htm)

### 6月の主な活動予定

※青字は日本国内

- 6/2-6 COFI (Committee on Fisheries) sub-Committee on Fish Trade, Bremen, Germany
- 6/3-5 High-Level Conference on World Food Security, FAO, Rome
- 6/5 農業環境シンポジウム「穀物の争奪戦が食卓を襲う—世界の穀物と環境問題」(東京・サンケイホール) 農環研主催、FAO日本事務所ほか後援
- 6/14-9/14 International Expo 2008 (UN Water Pavilion), Zaragoza, Spain
- 6/23-27 26th Regional Conference for Europe, Innsbruck, Austria

## 今月の統計をよむ



世界の穀物生産約21億トンのうち、人間が直接食べるのは、48%で半分以下です。家畜のエサになるのが35%、その他が17%となっています。

所得水準の向上に伴い、畜産物の消費が伸びていくという食生活の変化は、世界各国でほぼ共通して見られる現象ですが、例えば、豚肉1kgつくるのに5-7kgの穀物が必要となります。また、米国、EUなどでバイオ燃料生産に向けられている穀物は、「その他」の中に含まれますが、近年、急増し、約1億トン、全体の5%弱に達すると推定されています。

このように、穀物は、多くの人々の主食でありながら、その需要は、Food (食料)、Feed (飼料)、Fuel (燃料) という3つの「F」から構成されるなど需要側の要因が複雑になってきています。

(FAO日本事務所長 横山 光弘)

## テレフード募金にご協力お願いします

募金は、アジアやアフリカの食料不足の地域で、貧困農民の食料増産を支援する「テレフード・プロジェクト」に使用されます。

郵便振替口座

**00140-1-29732**

(FAO飢餓撲滅草の根募金)

※振替手数料無料。ご寄付は税金控除の対象となります。



## メールニュース配信のお知らせ

FAO日本事務所では、FAOに関する各種情報をEメールで不定期に配信しています。ご希望の方は下記までご連絡ください。  
**FAO-Japan-Info@fao.org**

## ニュースレターの配付について

本紙は、季刊誌「世界の農林水産—FAOニューズ—」とセットでJAICAFの会員にお送りしています。ご希望の方はJAICAFまでお申し込みください。

※ニュースレターは指定場所でも配布しています。